

富山県内の中小企業動向調査

ファーストTrend

2022年10月号

## 中小企業動向調査（2022年9月末日基準）

この調査は、富山県内企業319社からのアンケート結果をまとめたものです。  
 企業の調査資料として、2022年7月～9月の実績、2022年10月～12月の見込み、2023年1月～3月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
319（654）
うち、製造業58社、非製造業261社

調査時期：2022年10月

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2022年11月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2022年秋」によると、「富山県の景気は、基調としては持ち直している～（抜粋）個人消費は引続き持ち直しの動きがみられている。当地製造業の生産は、持ち直しの動きが一服している。業種別にみると、電気機械は、弱めの動きがみられている。金属製品は、持ち直しの動きが一服している。医薬品を中心とする化学は、横ばい圏内の動きとなっている。一方、汎用・生産用・業務用機械は増加している」とあります。今回実施したアンケートにおいては、企業動向は、製造業、非製造業とも悪化傾向が続いています。特に製造業原においては材料高による仕入れへの影響もあり、大きく悪化しております。2023年1月以降の予想についても悪化傾向が続く見通しとなっています。

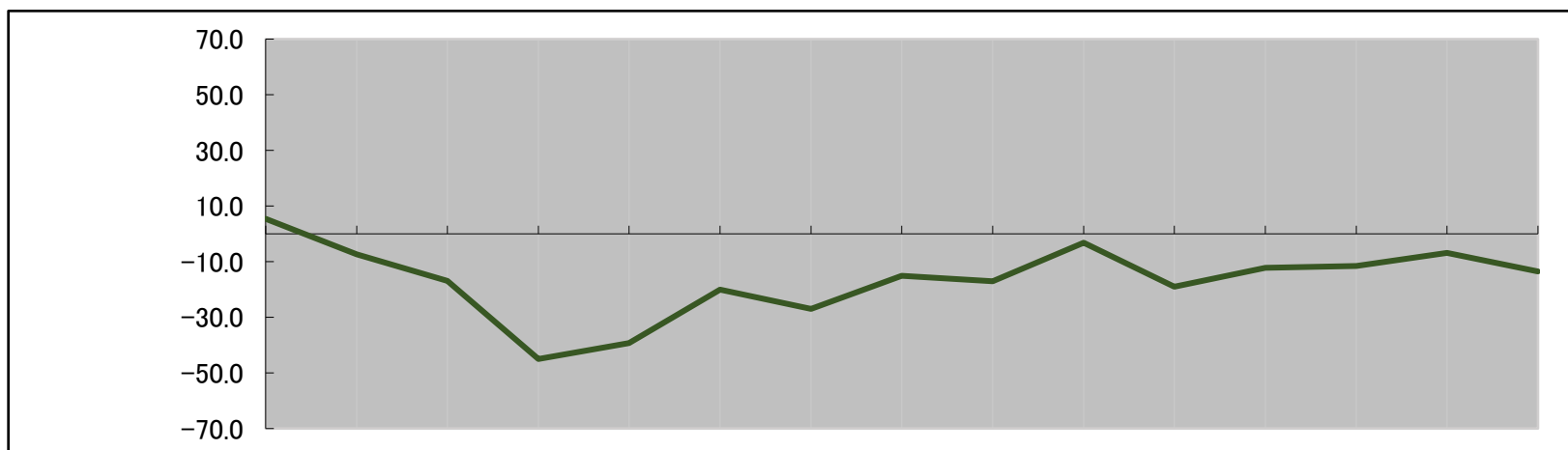
### I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

（%）

見込 予測

種別	期別	2019		2020				2021				2022				2023
		7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
良	い	22.7	14.8	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	22.0	17.4	17.2	16.3	16.9	11.0
普	通	59.9	63.1	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	52.8	46.2	53.5	55.8	59.2	64.6
悪	い	17.4	22.1	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	25.2	36.4	29.4	27.9	23.8	24.5
D .	I .	5.4	-7.4	-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-3.2	-19.0	-12.2	-11.6	-6.9	-13.5



- (1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、今回調査の7-9月期ではマイナス11.6となり、前回より0.6ポイント改善しました。先行きについては、10-12月はマイナス6.9とやや改善する見通しであるも、1-3月の見通しは悪化する予測です。

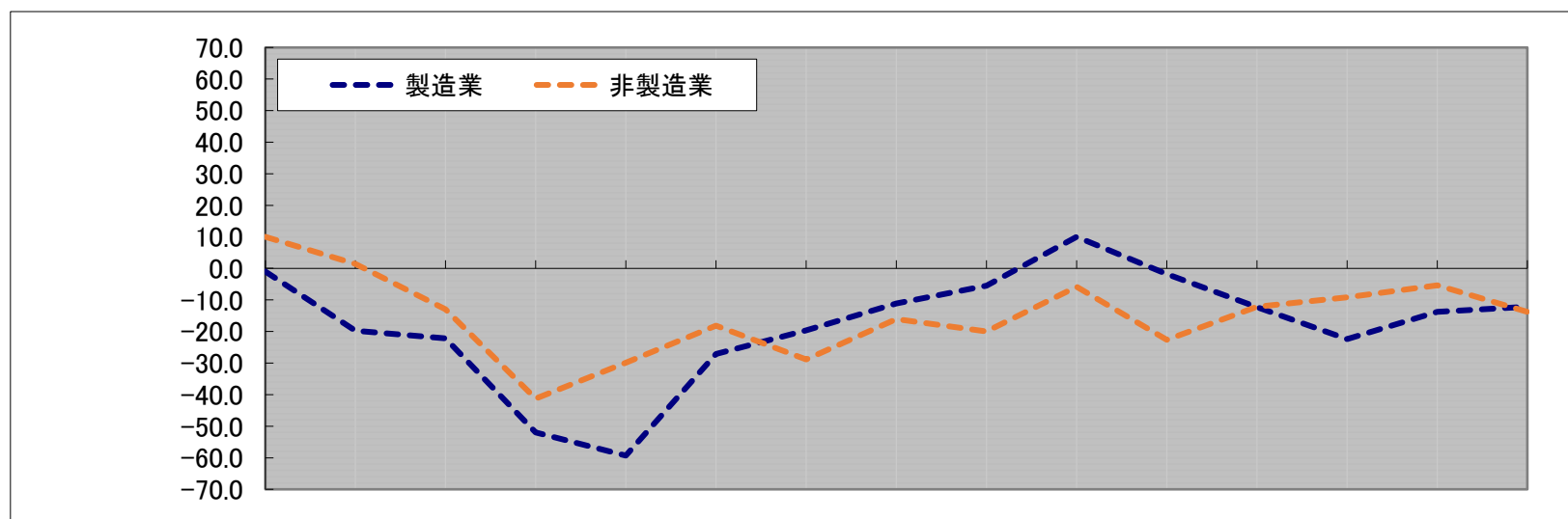
## I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）														見込	予測
		2019		2020				2021				2022				2023	
		7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	
良	い	22.5	11.9	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	36.7	30.9	24.6	15.5	12.1	12.1	
普	通	53.9	56.4	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	36.7	36.4	38.6	46.6	62.1	63.8	
悪	い	23.5	31.7	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	26.7	32.7	36.8	37.9	25.9	24.1	
D . I .		-1.0	-19.8	-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	10.0	-1.8	-12.3	-22.4	-13.8	-12.1	

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）														見込	予測
		2019		2020				2021				2022				2023	
		7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	
良	い	22.9	16.8	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	19.2	14.6	15.7	16.5	18.0	10.7	
普	通	64.3	67.8	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	55.9	48.3	56.4	57.9	58.6	64.8	
悪	い	12.9	15.4	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	24.9	37.2	27.9	25.7	23.4	24.5	
D . I .		10.0	1.4	-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-5.8	-22.6	-12.2	-9.2	-5.4	-13.8	



- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業は業況判断指数D. I. は マイナス22.4となり、前回より10.1ポイント悪化しました。非製造業ではマイナス9.2となり、前回より3.0ポイント改善しました。製造業では2022年7-9月をボトムして改善する予想となっており、非製造業は2022年10-12月をピークに下落する見通しです。

## II. 売上高状況

売上高状況の推移…… (全産業)

(%)

見込

予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
増加	25.8	18.6	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	28.4	16.8	27.6	25.7	22.9	17.6
横ばい	56.7	52.5	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	45.3	49.1	47.7	50.8	58.0	63.0
減少	17.5	28.9	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	26.3	34.2	24.7	23.5	19.1	19.4
D . I .	8.3	-10.3	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	2.1	-17.4	2.9	2.2	3.8	-1.9

売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込

予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
増加	22.8	16.2	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	40.0	27.3	24.6	32.8	22.4	22.4
横ばい	53.5	43.4	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	35.0	47.3	45.6	39.7	58.6	55.2
減少	23.8	40.4	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	25.0	25.5	29.8	27.6	19.0	22.4
D . I .	-1.0	-24.2	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	15.0	1.8	-5.3	5.2	3.4	0.0

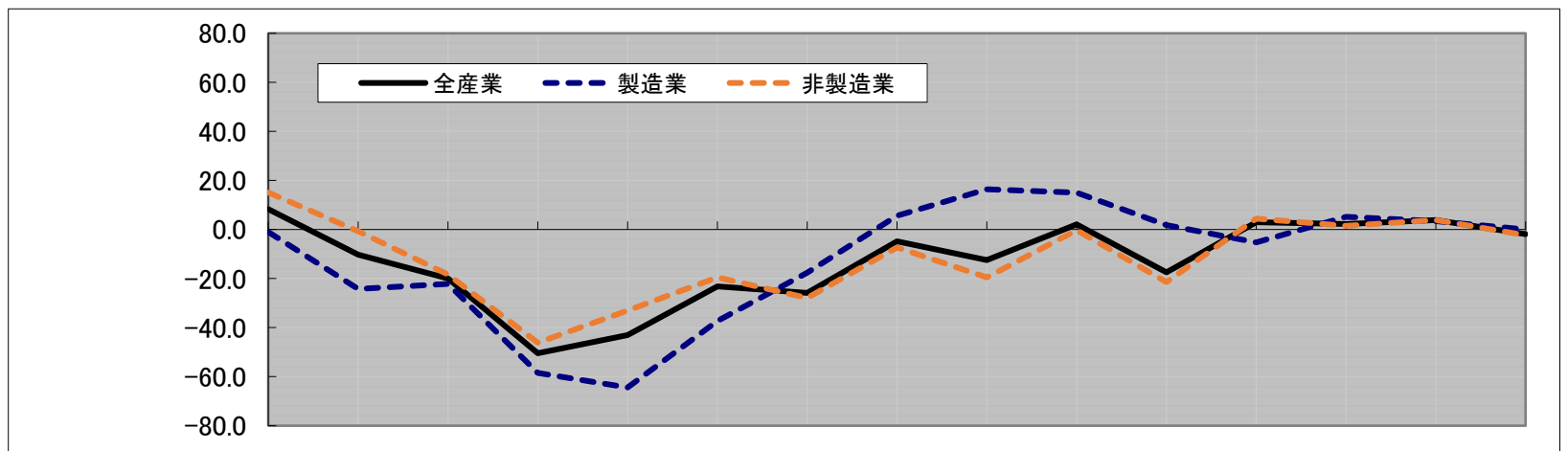
売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込

予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
増加	28.1	20.3	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	26.2	14.6	28.2	24.1	23.0	16.5
横ばい	59.0	58.7	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	47.3	49.4	48.1	53.3	57.9	64.8
減少	12.9	21.0	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	26.5	36.0	23.7	22.6	19.2	18.8
D . I .	15.1	-0.7	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-0.3	-21.5	4.5	1.5	3.8	-2.3



- (1) 売上高D.I.は全産業ではプラス2.2となり、前回よりマイナス0.7ポイントと若干悪化しました。製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではプラス5.2となり、前回比で10.5ポイント大幅に改善しました。非製造業はプラス1.5となり、前回比で3.0ポイント悪化しました。先行きについては、全産業において10-12月にプラス3.8と改善予想です。

### Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移…… (全産業)

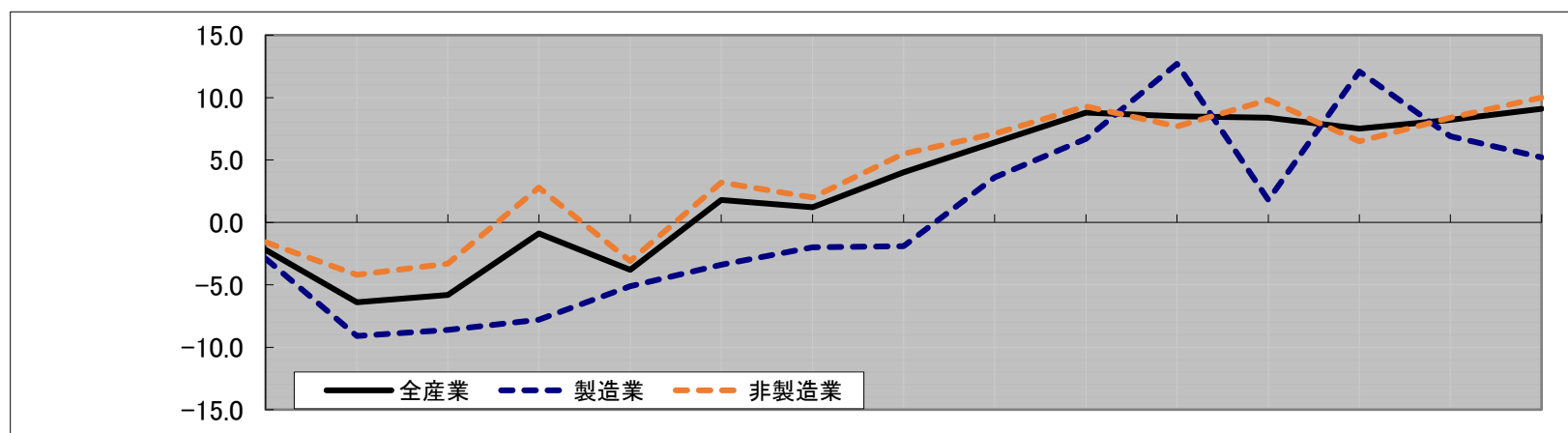
		(%)															見込	予測
		2019		2020				2021				2022				2023		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
不	足	3.5	2.8	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	12.3	13.3	13.1	13.2	12.2	11.6		
適	正	90.7	88.1	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	84.2	82.0	82.3	81.2	83.7	85.9		
過	剰	5.7	9.2	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.5	4.7	4.7	5.6	4.1	2.5		
D .	I .	-2.2	-6.4	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	8.8	8.5	8.4	7.5	8.2	9.1		

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

		(%)															見込	予測
		2019		2020				2021				2022				2023		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
不	足	4.9	3.0	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	10.0	16.4	10.5	19.0	15.5	10.3		
適	正	87.3	84.8	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	86.7	80.0	80.7	74.1	75.9	84.5		
過	剰	7.8	12.1	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	3.3	3.6	8.8	6.9	8.6	5.2		
D .	I .	-2.9	-9.1	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	6.7	12.7	1.8	12.1	6.9	5.2		

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

		(%)															見込	予測
		2019		2020				2021				2022				2023		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
不	足	2.4	2.5	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.8	12.6	13.6	11.9	11.5	11.9		
適	正	93.6	90.8	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.7	82.4	82.6	82.8	85.4	86.2		
過	剰	4.0	6.7	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.5	5.0	3.8	5.4	3.1	1.9		
D .	I .	-1.6	-4.2	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	7.7	9.8	6.5	8.4	10.0		



- (1) 7-9月の製品在庫水準D. I. はプラス7.5と在庫不足の状況は続いています。2020年10-12月より上昇傾向が続いており、在庫不足の状況には変化ありません。製造業はプラス12.1と前回より10.3ポイント上昇しました。非製造業はプラス6.5と前回より3.3ポイント下降しました。

#### IV. 資金繰り状況

資金繰り状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
ゆるい	10.7	11.5	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	13.4	15.8	16.9	15.0	14.4	12.5
普通	81.8	76.6	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	70.8	65.2	68.3	70.2	70.5	66.8
厳しい	7.4	11.9	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	15.8	19.0	14.8	14.7	15.0	20.7
D . I .	3.3	-0.4	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-2.4	-3.2	2.0	0.3	-0.6	-8.2

資金繰り状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

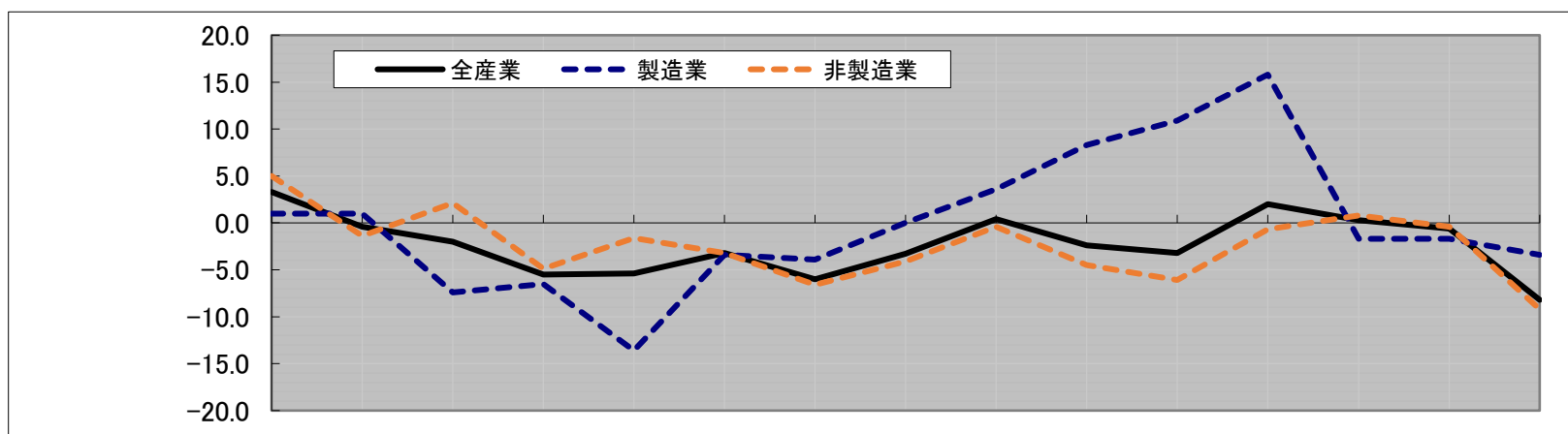
	2019		2020				2021				2022				2023
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
ゆるい	11.8	13.9	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	20.0	21.8	21.1	12.1	12.1	12.1
普通	77.5	73.3	77.8	62.3	72.9	66.1	72.5	70.4	67.3	68.3	67.3	73.7	74.1	74.1	72.4
厳しい	10.8	12.9	14.8	22.1	20.3	18.6	15.7	14.8	14.5	11.7	10.9	5.3	13.8	13.8	15.5
D . I .	1.0	1.0	-7.4	-6.5	-13.6	-3.4	-3.9	0.0	3.6	8.3	10.9	15.8	-1.7	-1.7	-3.4

資金繰り状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
ゆるい	10.0	9.8	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	12.1	14.6	16.0	15.7	14.9	12.6
普通	85.0	79.0	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	71.2	64.8	67.2	69.3	69.7	65.5
厳しい	5.0	11.2	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	16.6	20.7	16.7	14.9	15.3	21.8
D . I .	5.0	-1.4	2.1	-4.9	-1.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-4.5	-6.1	-0.7	0.8	-0.4	-9.2



- (1) 7-9月の資金繰り状況D. I. は全産業で1.7ポイント悪化しています。製造業は17.5ポイント悪化のマイナス1.7と6四半期振りのマイナス水準に陥っています。一方、非製造業は1.5ポイント改善のプラス0.8と10四半期振りにプラス水準となりました。10-12月、1-3月の資金繰り状況の見通しは全産業で悪化予想となっています。非製造業がマイナス域から脱せず、また2021年7-9月以降プラス水準になった製造業が再びマイナス水準に陥り、1-3月は大幅なマイナス予想となっています。

## V. 利益状況

利益状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
黒字	48.3	45.9	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	42.9	36.7	34.6	35.4	34.5	32.0
収支トントン	37.2	40.1	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	33.2	29.4	41.6	39.5	45.5	48.6
償却後赤字	14.5	14.0	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.9	33.9	23.8	25.1	20.1	19.4
D . I .	33.9	31.8	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	19.0	2.8	10.8	10.3	14.4	12.5

利益状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

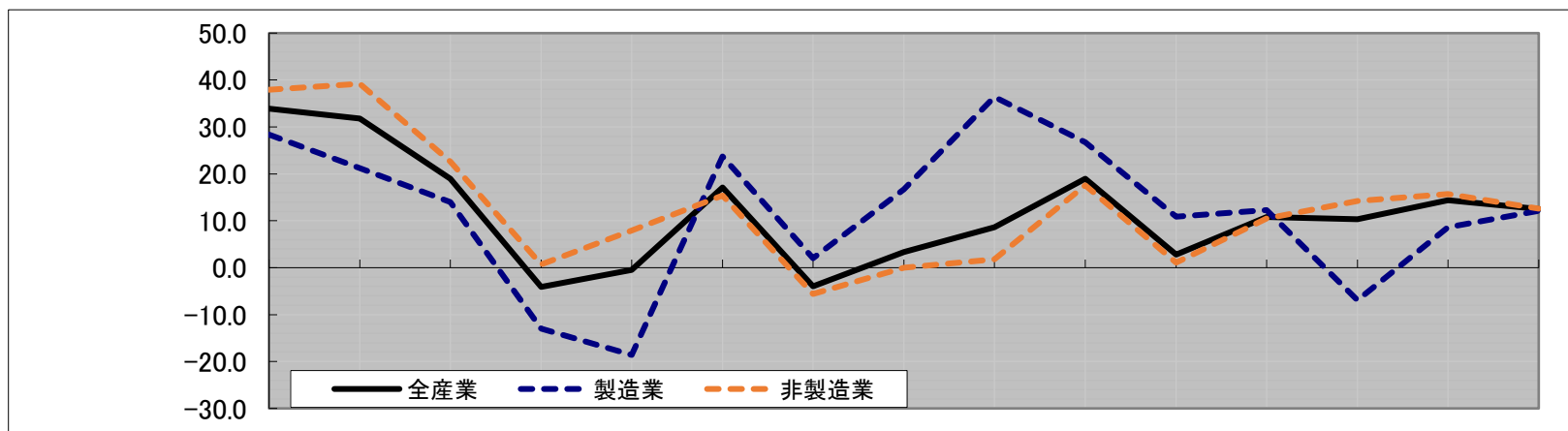
	2019		2020				2021				2022				2023
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
黒字	46.1	38.4	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	55.0	41.8	38.6	29.3	31.0	29.3
収支トントン	36.3	44.4	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	16.7	27.3	35.1	34.5	46.6	53.4
償却後赤字	17.6	17.2	30.8	45.5	44.1	30.5	37.3	25.9	18.2	28.3	30.9	26.3	36.2	22.4	17.2
D . I .	28.4	21.2	14.0	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	26.7	10.9	12.3	-6.9	8.6	12.1

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2019		2020				2021				2022				2023
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
黒字	50.0	51.0	41.8	34.3	37.8	42.1	29.4	32.1	34.7	40.6	35.6	33.8	36.8	35.2	32.6
収支トントン	37.9	37.1	39.0	32.2	32.3	31.2	35.5	35.8	32.4	36.4	29.9	42.9	40.6	45.2	47.5
償却後赤字	12.1	11.9	19.2	33.6	29.9	26.7	35.0	32.1	32.9	23.0	34.5	23.3	22.6	19.5	19.9
D . I .	37.9	39.2	22.6	0.7	7.9	15.4	-5.6	0.0	1.8	17.6	1.1	10.5	14.2	15.7	12.6

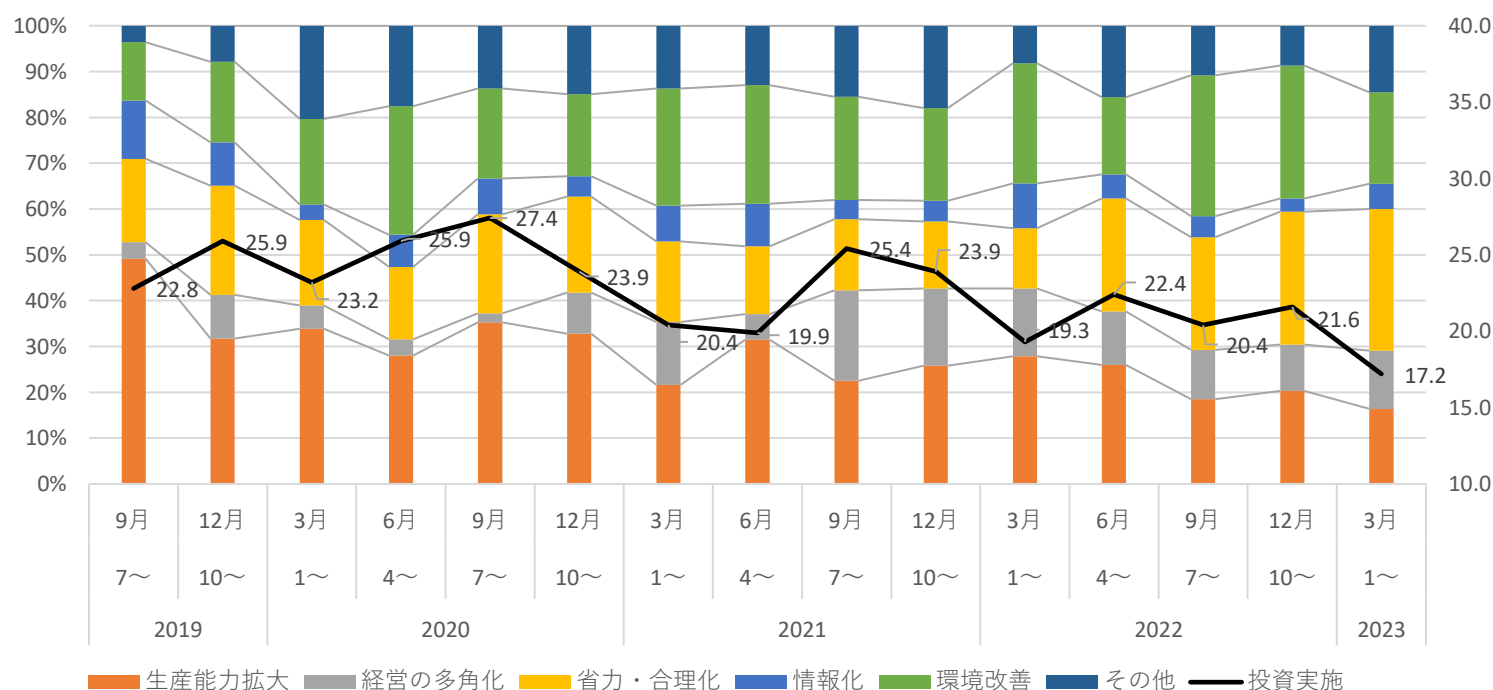


- (1) 7-9月の利益状況D. I. は全産業で前回比0.5ポイントの悪化となっています。内訳は製造業が19.2ポイントの悪化でマイナス水準に転落。非製造業は3.7ポイントの改善となっています。製造業と非製造業で明暗が分かれています。10-12月、1-3月の見込・予測は全産業が若干の改善基調。内訳は製造業が大幅な改善。非製造業が若干の改善基調となっています。

## Ⅶ. 設備投資動向

	(%)															見込	予測
	2019		2020				2021				2022				2023		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
投資実施	22.8	25.9	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	23.9	19.3	22.4	20.4	21.6	17.2		
投資せず	77.2	74.1	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	76.1	80.7	77.6	79.6	78.4	82.8		

	(%)															見込	予測
	2019		2020				2021				2022				2023		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
生産能力拡大	49.1	31.7	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	25.8	27.9	26.0	18.5	20.3	16.4		
経営の多角化	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	16.8	14.8	11.7	10.8	10.1	12.7		
省力・合理化	18.2	23.8	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	14.6	13.1	24.7	24.6	29.0	30.9		
情報化	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	4.5	9.8	5.2	4.6	2.9	5.5		
環境改善	12.7	17.5	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.2	26.2	16.9	30.8	29.0	20.0		
その他	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	17.9	8.2	15.6	10.8	8.7	14.5		



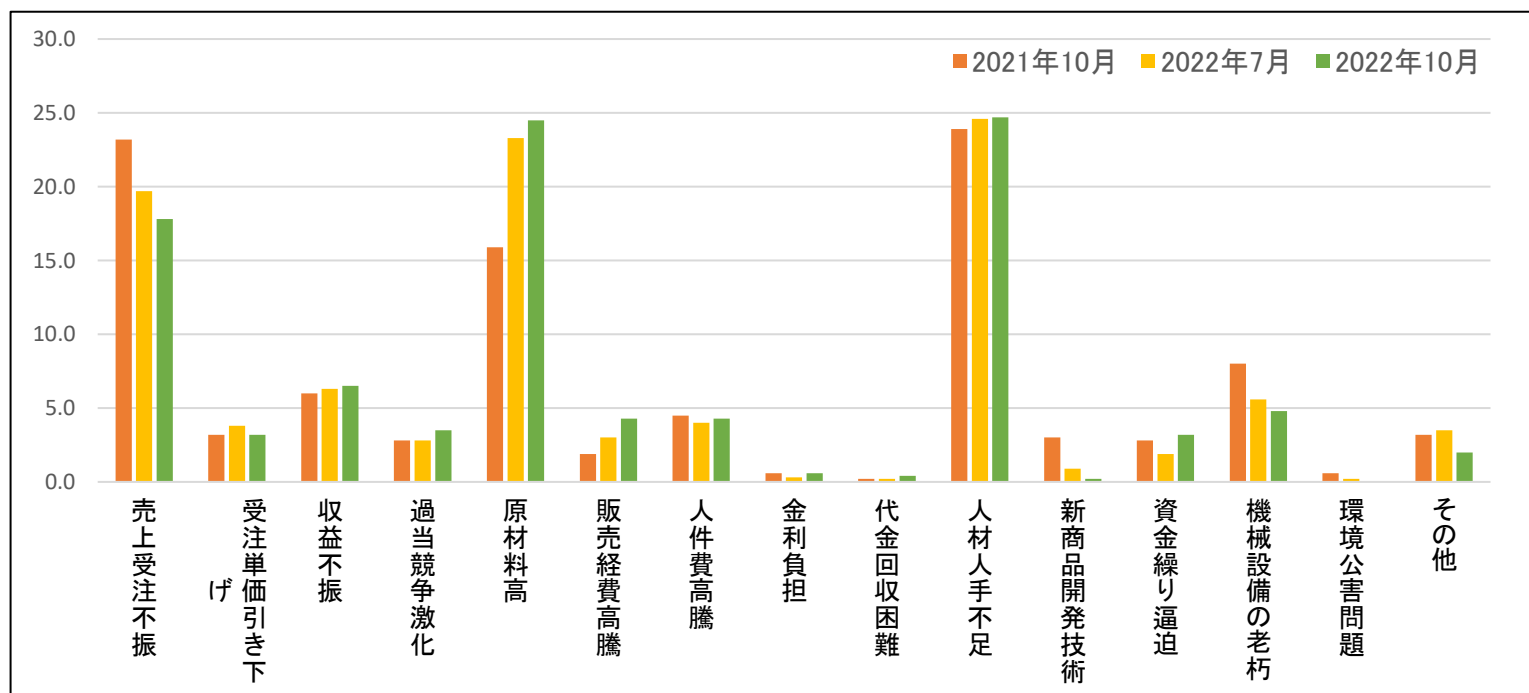
- (1) 設備投資を実施した企業は20.4となり、前回比2.0ポイント悪化しています。設備投資を実施した目的については、「環境改善」が30.8%と前回比13.9%上昇し、次いで「省力・合理化」が24.6%と横ばいで推移しています。一方、前回調査で26.0%であった「生産能力拡大」については18.5%と7.5ポイントのマイナスとなっています。



## VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	2021年10月 (前年同月)	2022年7月 (前回)	2022年10月 (今回)	2022年10月		前环比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	23.2	19.7	17.8	(16.5)	(18.2)	-1.9
受注単価引き下げ	3.2	3.8	3.2	(1.9)	(3.4)	-0.6
収益不振	6.0	6.3	6.5	(7.8)	(6.2)	0.2
過当競争激化	2.8	2.8	3.5	(0.0)	(4.4)	0.7
原材料高	15.9	23.3	24.5	(32.0)	(22.8)	1.2
販売経費高騰	1.9	3.0	4.3	(2.9)	(4.6)	1.3
人件費高騰	4.5	4.0	4.3	(5.8)	(3.9)	0.3
金利負担	0.6	0.3	0.6	(1.0)	(0.5)	0.3
代金回収困難	0.2	0.2	0.4	(0.0)	(0.5)	0.2
人材人手不足	23.9	24.6	24.7	(24.3)	(24.8)	0.1
新商品開発技術	3.0	0.9	0.2	(0.0)	(0.2)	-0.7
資金繰り逼迫	2.8	1.9	3.2	(1.9)	(3.4)	1.3
機械設備の老朽	8.0	5.6	4.8	(4.9)	(4.8)	-0.8
環境公害問題	0.6	0.2	0.0	(0.0)	(0.0)	-0.2
その他	3.2	3.5	2.0	(1.0)	(2.3)	-1.5



- (1) 当面の経営上の問題点として「人材人手不足」が最も多くなっており、24.7%となっています。対前年比ではプラス0.8ポイント、対前环比ではプラス0.1ポイントと高止まりしています。
- (2) 次いで多い「原材料高」については24.5%で、対前环比プラス1.2ポイントと依然高い水準にあります。「売上受注不振」については17.8%で、前环比マイナス1.9ポイントで推移しています。

## 富山県内の中小企業の現在の業況とゼロゼロ融資等について

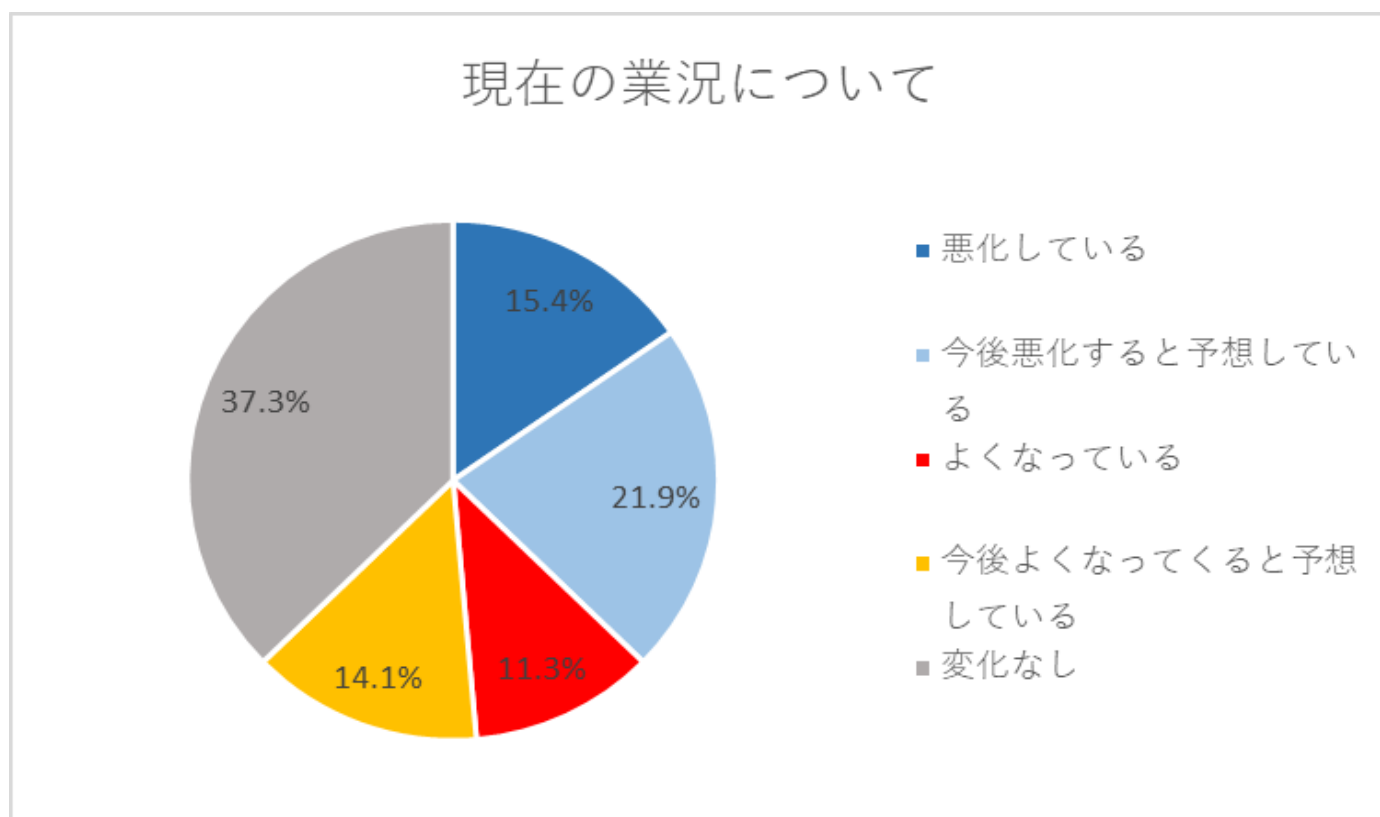
回答企業数	319社(うち、製造業58社、非製造業261社)
調査企業数	654
調査時期	2022年10月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施(中小企業動向調査と同時に実施)

「現在の業況等に関するアンケート」からは、「売上減少・受注不振」による要因が業況悪化の上位となっています。ついで「原材料・仕入価格の上昇」を業況悪化要因との回答が多くなっており、ウクライナ情勢、新型コロナ流行による中国のロックダウン、円安進行等の影響による原材料・仕入価格が上昇しているものと思われます。原材料・仕入価格の上昇の対策として販売価格の転嫁に企業努力している様子が伺えます。また、原材料・仕入価格の上昇幅を販売価格に転嫁しきれずに結果として業況悪化に繋がっている企業も多いと推測されます。

「ゼロゼロ融資等に関するアンケート」からは、7割以上の企業が「実質無利子・無担保融資」を利用しており、8割以上の企業は、資金繰り安定化に活用され、特段の返済に問題はない現状が見てとれます。一方、返済の据置きを利用していることにより、資金繰りの安定化に繋がっている企業も少なくないと思われます。今後、返済据置期間が終了し、返済が開始することにより資金繰りに影響がでてくる可能性もあり、景況感、外部環境に留意していく必要があります。

### 現在の業況等に関するアンケート

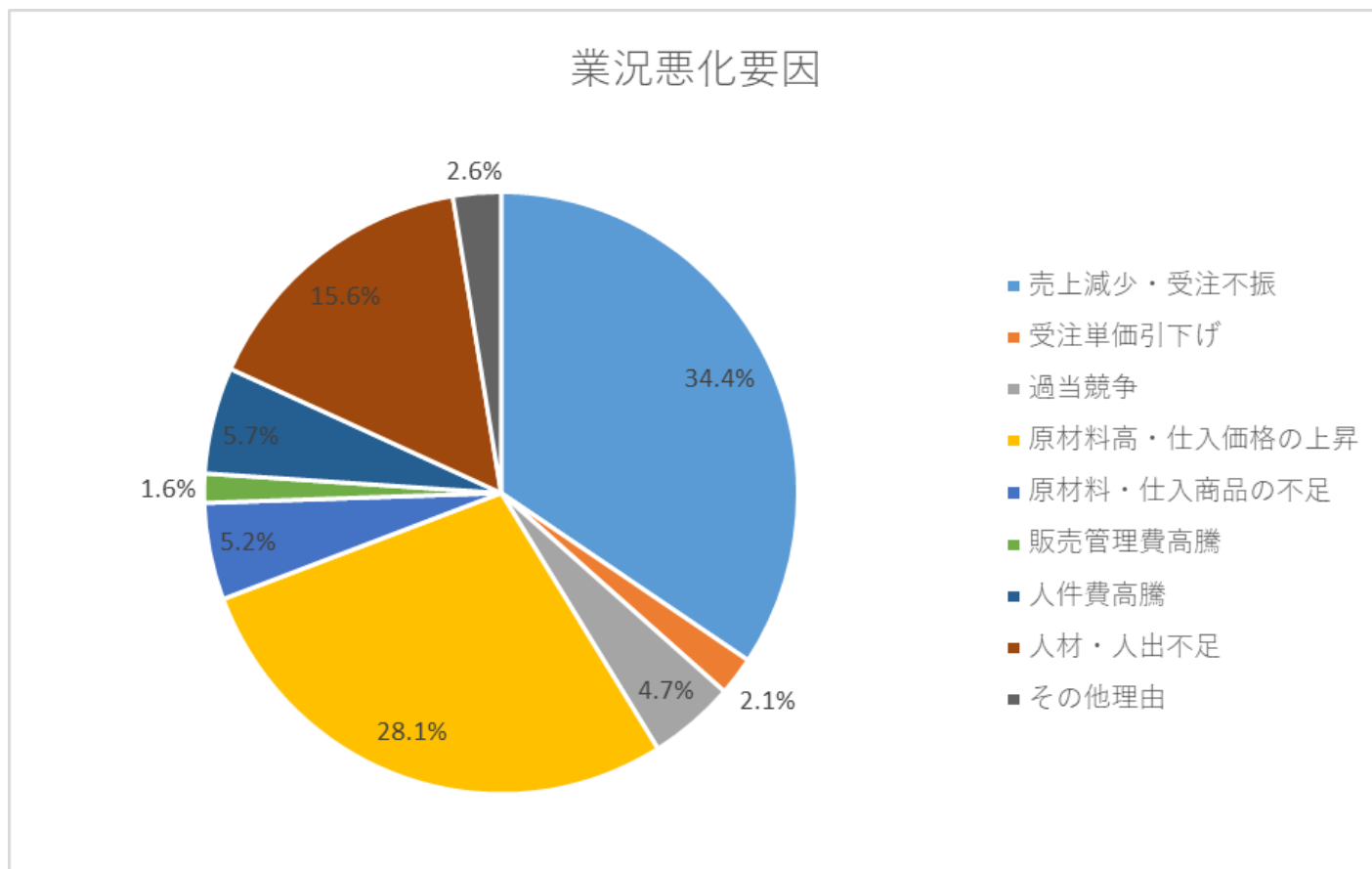
#### 設問1：現在の業況について教えてください



・「変化なし」と答えた企業が最も多く37.3%となっています。ついで多いのが「今後悪化すると予想している」が21.9%「悪化している」が15.4%となっており、全体の37.3%が悪化、今後悪化するとの回答となっています。

## 設問2：悪化の要因はなんですか

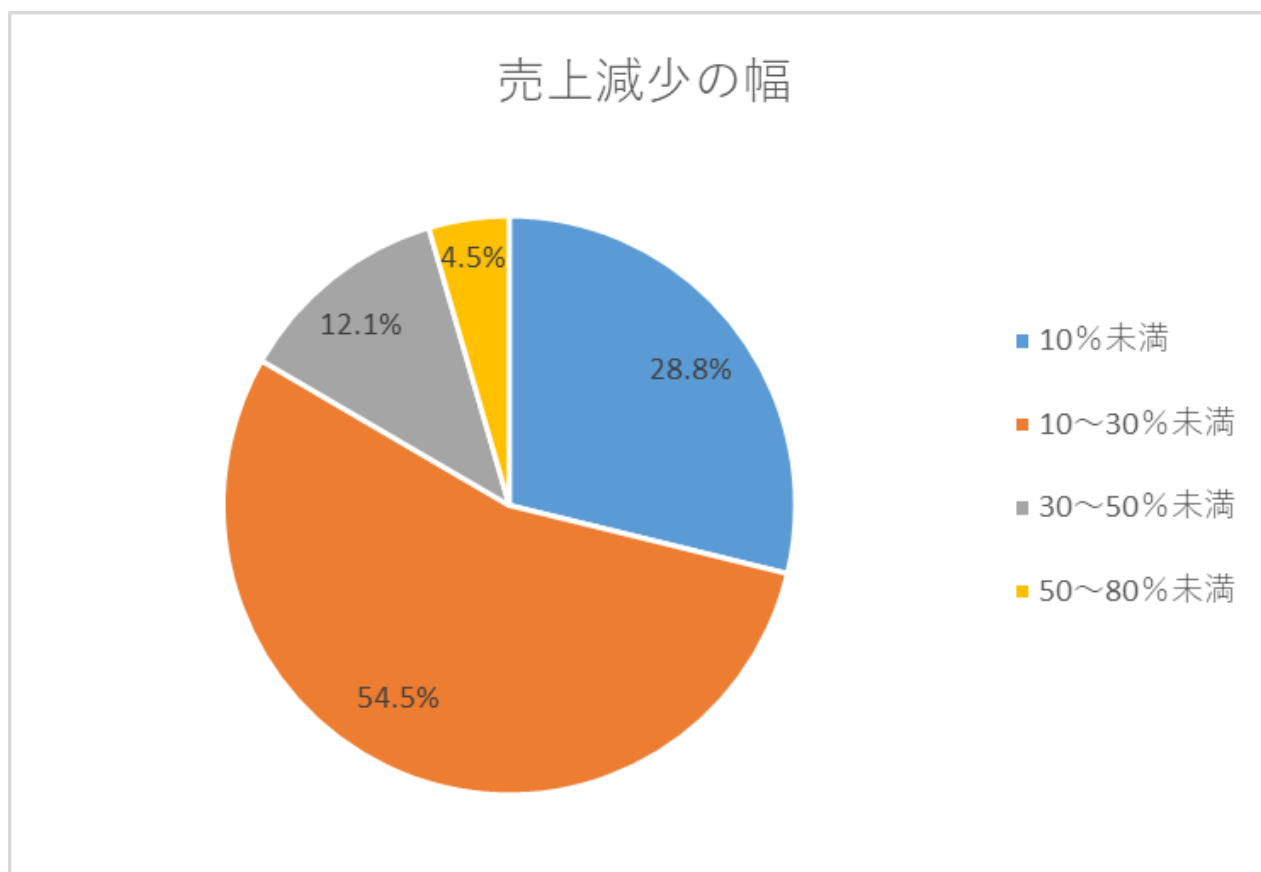
※「悪化している」、「今後悪化すると予想している」と回答された方のみ回答(複数回答可)



・「売上減少・受注不振」と答えた企業が最も多く、34.3%となっています。ついで多いのが「原材料・仕入価格の上昇」で28.1%、「人材・人手不足」で15.6%となっています。

## 設問3：売上(受注)の減少幅はどれくらいですか

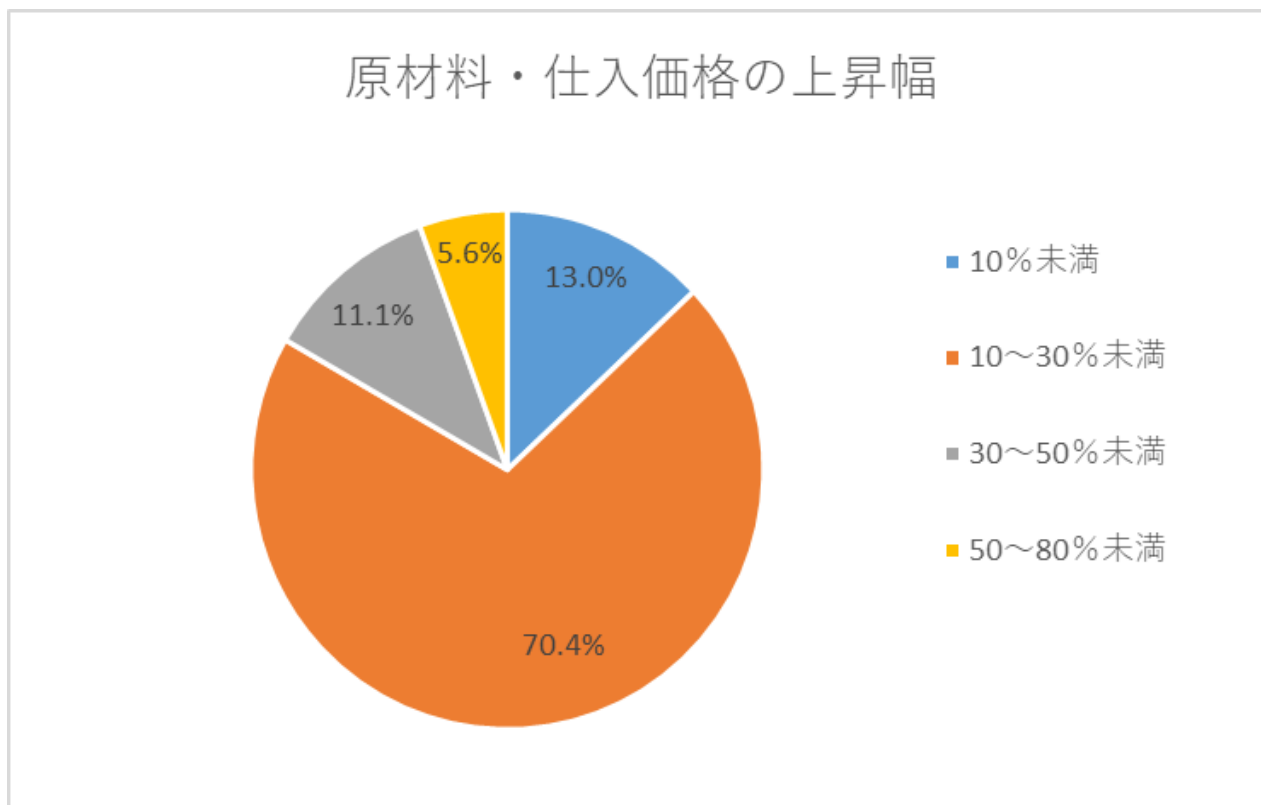
※設問2で「売上減少・受注不振」と回答された方のみ回答



・「10～30%未満」と答えた企業が最も多く54.5%となっています。ついで多いのが「10%未満」で28.8%となっています。

#### 設問4：原材料・仕入価格の上昇はどのくらいですか

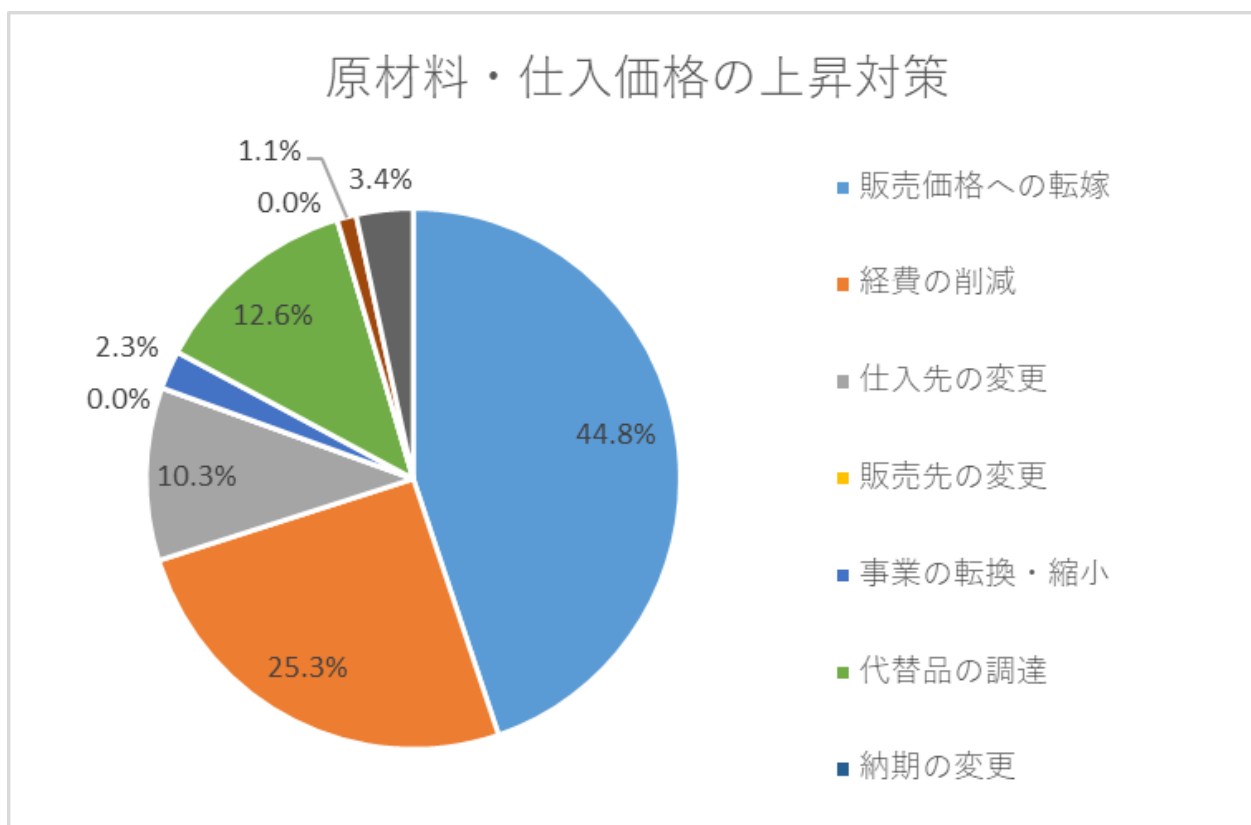
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



・「10～30%未満」と答えた企業が最も多く70.4%となっています。ついで多いのが「10%未満」13.0%、「30～50%未満」11.1%となっています。

#### 設問5：原材料・仕入価格上昇の対応策としてどのようなことをしましたか

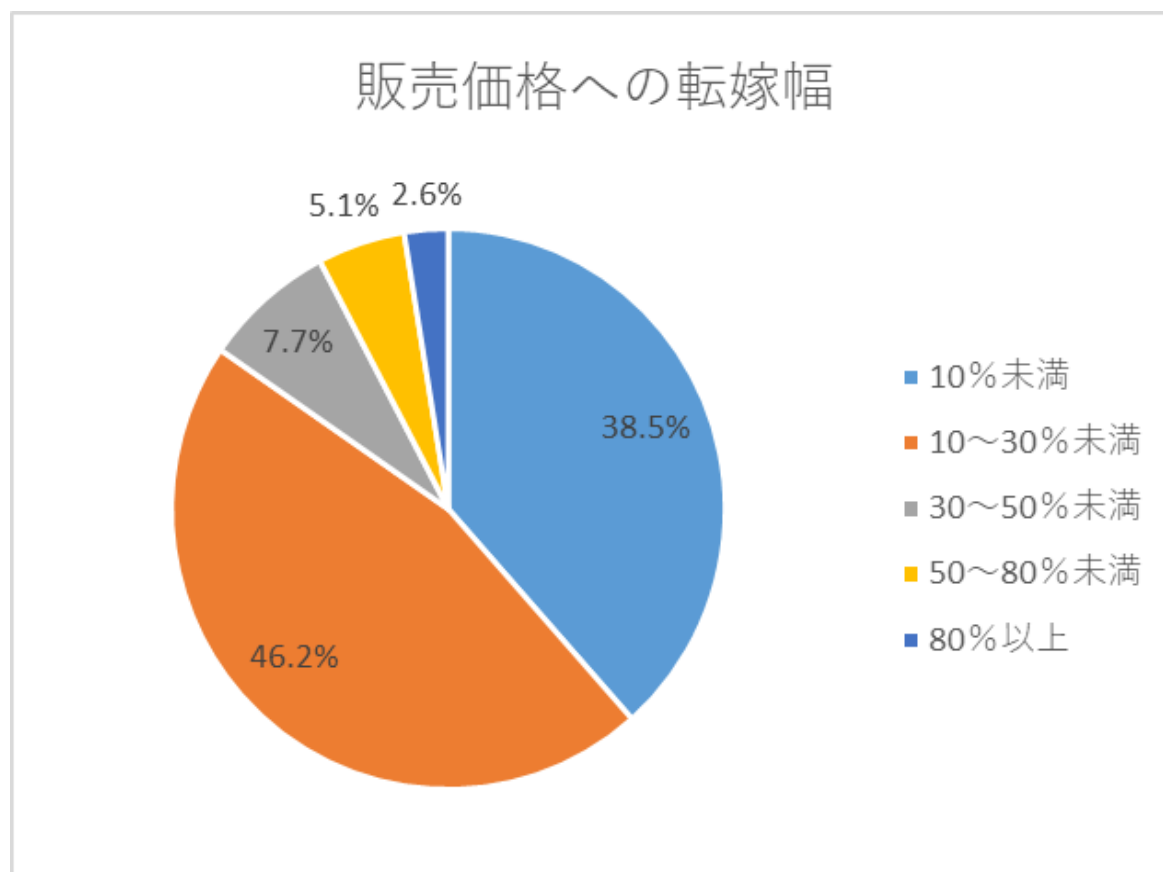
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答(複数回答可)



・「販売価格への転嫁」と答えた企業が最も多く44.8%となっています。ついで多いのが「経費の削減」で25.3%となっています。

## 設問6： どれくらい価格転嫁されましたか

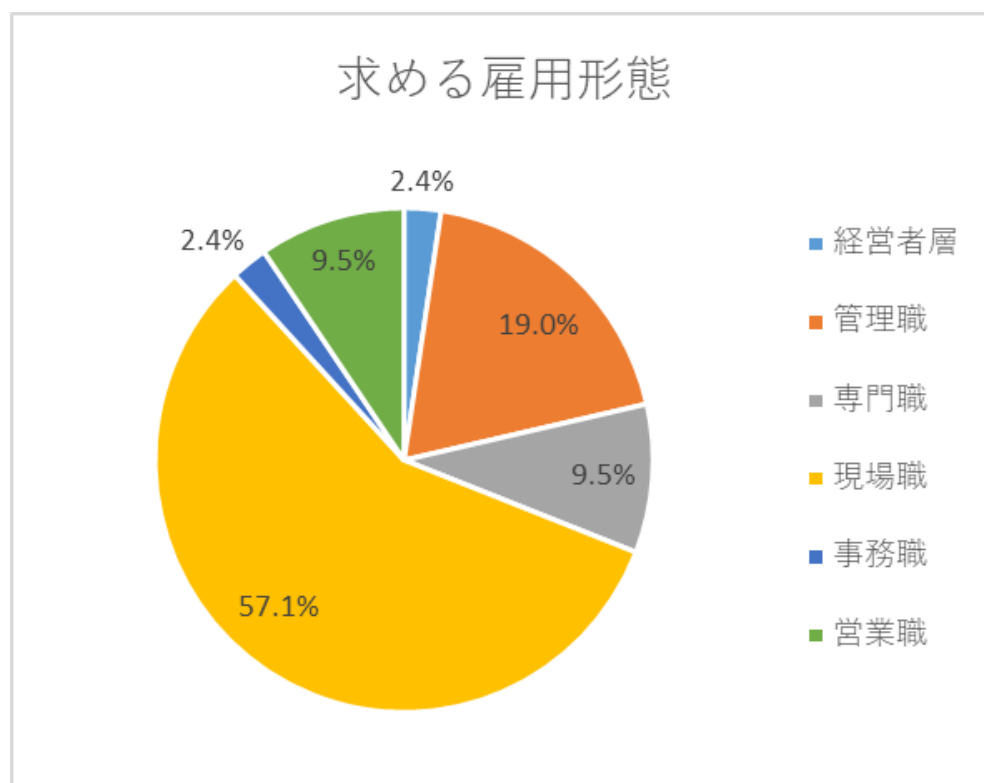
※設問5で「販売価格への転嫁」と回答された方のみ回答



・「10~30%未満」が最も多く46.2%となっています。ついで多いのが「10%未満」で38.5%となっています。価格転嫁幅はこの2項目で8割を占めます。

## 設問7： どのような雇用形態の人材・人手が不足していますか

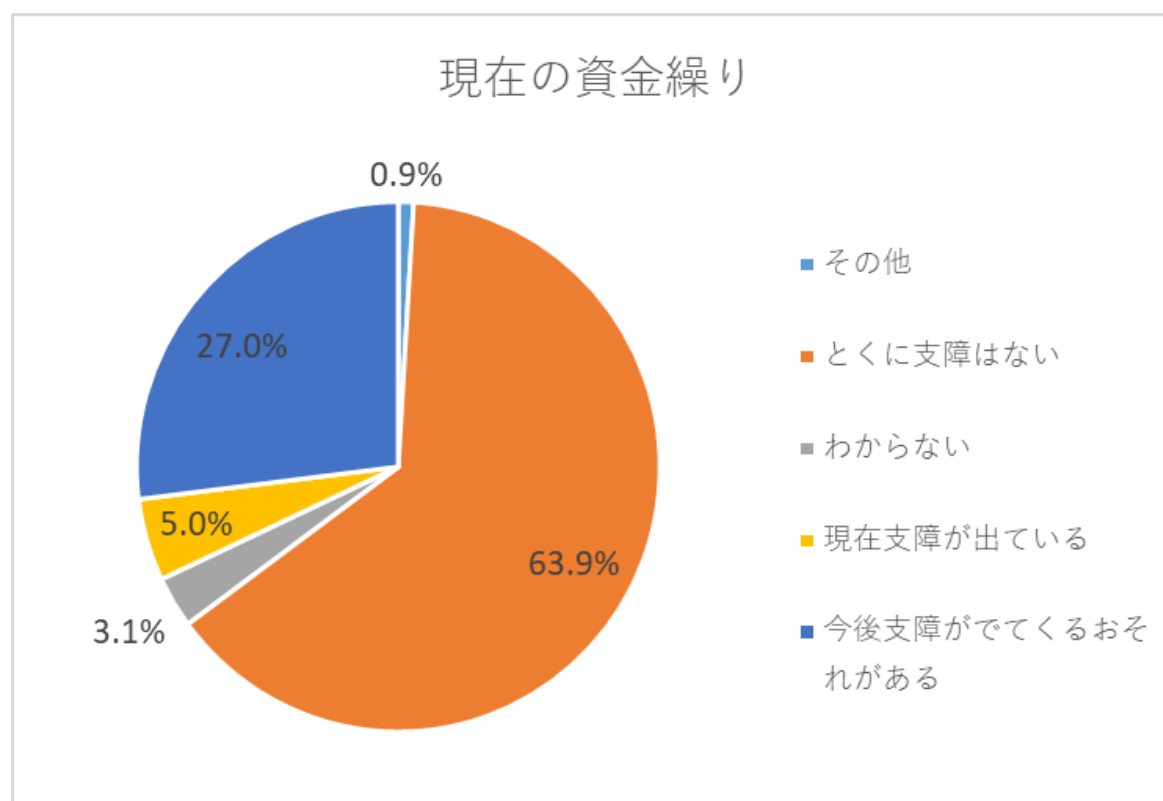
※設問1で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答



・不足している人材・人手として「現場職」が最も多く57.1%と過半数を占めています。ついで「管理職」が19.0%、「専門職」「営業職」がそれぞれ9.5%となっています。

## ゼロゼロ融資等に関するアンケート

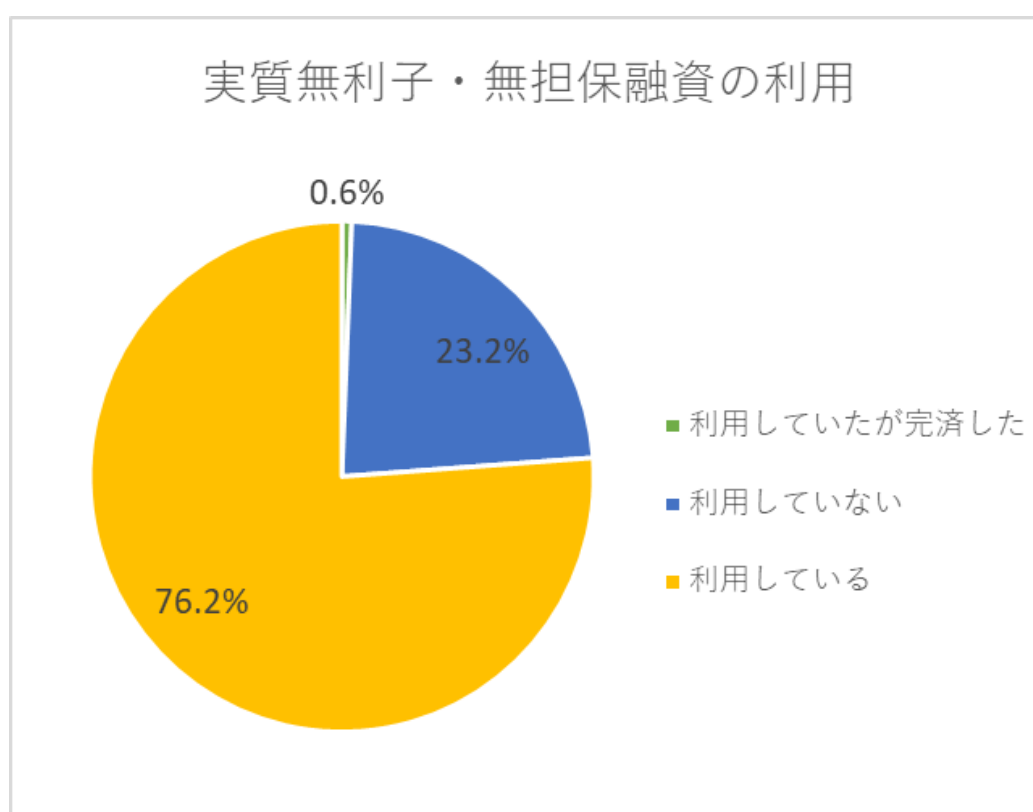
### 設問8：現在の資金繰りの状況はどうか



・「特に支障はない」が最も多く63.9%と過半数を占めています。ついで「今後支障がでてくるおそれがある」で27.0%を占めています。

### 設問9：新型コロナウイルス感染症に伴う「実質無利子・無担保融資」を利用していますか

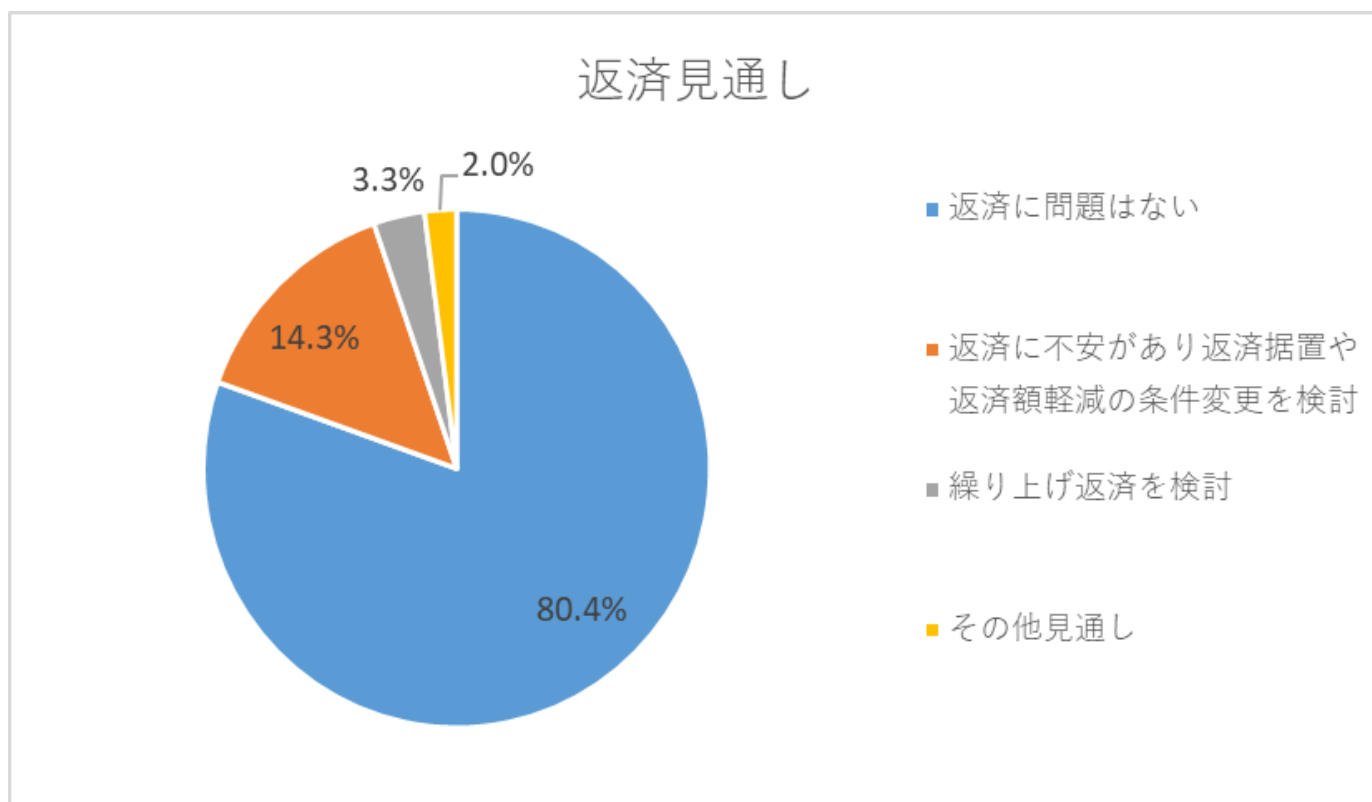
※借入先不問



・「利用している」が76.2%で過半数を占めています。「利用していない」が23.2%となっており少数となっています。

## 設問10： 今後の返済見通しはどうか

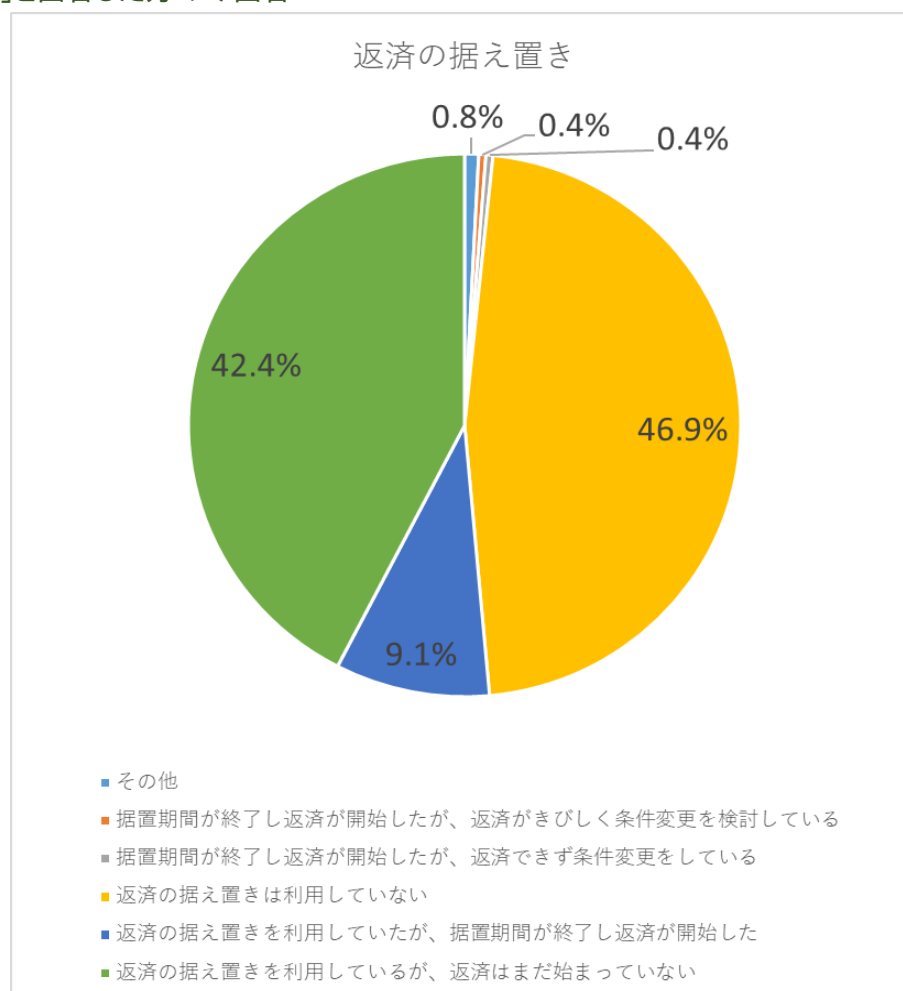
※設問9で「利用している」と回答した方のみ回答(複数回答可)



・実質無利子・無担保融資を利用している企業のうち80.4%が「返済に問題はない」と回答した一方、「返済に不安があり返済据置や返済額軽減の条件変更を検討」と回答した企業が14.3%となっています。

## 設問11： 返済の据え置きを利用しておられますか

※設問9で「利用している」と回答した方のみ回答



・「返済の据え置きは利用していない」と回答した企業が46.9%となっています。ついで多いのが「返済の据え置きを利用しているが、返済はまだ始まっていない」で42.4%となっています。

# 中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

**売上UP**  
どうすれば…

**販路拡大**  
方法は…

**人材育成**  
進まない…

**後継者**  
決められない…

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。  
地域に根ざしているからこそ力になれる  
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>